

事 項	令和7年度名古屋市芸術賞受賞者の決定について												
内 容	<p>令和7年度名古屋市芸術賞の受賞者が決定しましたので、ご報告します。</p> <p>1 概 要</p> <p>名古屋市芸術賞は、「名古屋市芸術特賞」と「名古屋市芸術奨励賞」からなる賞で、名古屋市の芸術文化の振興を目的として、昭和50年度に芸術奨励賞を、昭和54年度からは芸術特賞を創設したものです。</p> <p>(1)「芸術特賞」は、長年にわたり優れた芸術創造活動を行い、かつ、近年における活動が顕著で、本市の芸術文化の振興に大きな功績のあった個人または団体に贈られます。</p> <p>(2)「芸術奨励賞」は、継続的に活発な芸術創造活動を行い、かつ、将来の活躍が期待される者で、今後とも本市の芸術文化の振興に寄与することを期待できる個人または団体に贈られます。</p> <p>2 受賞者</p> <p>(1) 芸術特賞（表彰楯及び副賞40万円）</p> <table border="1"> <tr> <th>氏 名（ふりがな）</th><th>領 域</th></tr> <tr> <td>木下 信三（きのした しんぞう）</td><td>文芸（文学調査）</td></tr> </table> <p>(2) 芸術奨励賞（表彰楯及び副賞20万円）</p> <table border="1"> <tr> <th>氏 名（ふりがな）</th><th>領 域</th></tr> <tr> <td>伊藤 美由紀（いとう みゆき）</td><td>音楽（作曲）</td></tr> <tr> <td>LONTO（ろんと）</td><td>演劇（道化師）</td></tr> <tr> <td>柴田 麻衣（しばた まい）</td><td>美術</td></tr> </table> <p>※芸術特賞及び芸術奨励賞受賞者の略歴は、別添をご参照ください。</p> <p>3 授賞式</p> <p>(1) 日 時 令和8年2月3日（火） 午後1時～</p> <p>(2) 場 所 名古屋市公館 レセプションホール</p> <p>(3) その他 名古屋市民芸術祭2025授賞式と合同で行います。</p>	氏 名（ふりがな）	領 域	木下 信三（きのした しんぞう）	文芸（文学調査）	氏 名（ふりがな）	領 域	伊藤 美由紀（いとう みゆき）	音楽（作曲）	LONTO（ろんと）	演劇（道化師）	柴田 麻衣（しばた まい）	美術
氏 名（ふりがな）	領 域												
木下 信三（きのした しんぞう）	文芸（文学調査）												
氏 名（ふりがな）	領 域												
伊藤 美由紀（いとう みゆき）	音楽（作曲）												
LONTO（ろんと）	演劇（道化師）												
柴田 麻衣（しばた まい）	美術												
備 考	本件については、1月13日、市政記者クラブへ資料提供しました。												

令和7年度 名古屋市芸術賞受賞者の概要

芸術特賞 木下 信三（90歳） 文芸（文学調査）



昭和9（1934）年、名古屋市生まれ。昭和41（1966）年に個人雑誌の刊行を開始して以来、独自の視点から文学研究と執筆活動が続けている。昭和45（1970）年からは、俳人・種田山頭火の実証的研究を志し、全国各地に残る足跡を丹念に追査するなど、精緻な研究活動が続けてきた。これまでに「山頭火伝」「山頭火虚像伝」「山頭火の細道」「山頭火空白帖」など多くの著作を発表し、山頭火研究の深化と再評価に大きく貢献している。

昭和45（1970）年には、同人誌「北斗」創刊主宰者の一人である木全圓壽氏の誘いを受け、名古屋近代文学史研究会（現・愛知近代文学史研究会）に参加した。以来、名古屋の近代文学史の掘り起こしと研究に半生を捧げ、木全氏没後は同研究会を牽引し、地域に根差した文学研究の中核的存在として、後進の育成と研究活動の継続に大きな役割を果たしている。

さらに、亀山巖氏（明治40（1907）年－昭和64（1989）年／元中日新聞取締役・編集局長／公益財団法人名古屋市文化振興事業団設立者）との深い信頼関係のもと、同氏より譲渡された数多くの貴重な文学資料を整理、研究するとともに、それらを本市に寄贈してきた。これらの資料は、名古屋近代詩の隆盛期を支えた詩人や文学者たちの文学思想の動向を明らかにするものであり、学術的、文化的価値の極めて高い資料である。

令和2（2020）年には、未発表原稿や私信などを収録した「亀山巖のまなざし 雑学の粹人モダニスト」を出版。名古屋の文学文化を多角的に捉え直す成果を世に示した。

木下信三氏の長年にわたる研究活動と貴重な文学資料の寄贈は、本市の文化的資産の充実に大きく寄与するとともに、地域の文学史研究および文化芸術の振興に多大な貢献を果たしてきたものであり、その功績は顕著である。

令和7年度 名古屋市芸術賞受賞者の概要

芸術奨励賞 いとう みゆき
伊藤 美由紀（56歳） 音楽（作曲）



平成7（1995）年に愛知県立芸術大学音楽学部作曲科を卒業、平成10（1998）年マンハッタン音楽院修士課程を修了。その後、文化庁芸術家在外研修員として、フランス国立音響音楽研究所（ircam）で研鑽を積む。博士課程では現代音楽を代表する作曲家トリスラン・ミュライユ氏に師事し、コロンビア大学で博士号を取得した。

平成16（2004）年にはゆめたろうプラザ響きホール（愛知県知多郡武豊町）での開館記念演奏会にて初演を披露。以降も活躍の場を広げ、ミュージック・フロム・ジャパン（ニューヨーク）、愛知芸術文化センターなどからの作品委嘱を受けるほか、国内外の主要音楽祭で作品発表を続け、優れた功績を残している。

また、平成17（2005）年からは自主企画公演として、「ニンフェアール」を主宰。公演ごとに様々な企画を打ち出し、テクノロジーの利用や、映像作家とのコラボレーション、文学をテーマとした公演など、独自の音楽性を追求している。同公演における第10回公演は、挑戦的で優れた公演に授与される佐治敬三賞を、第19回公演は、名古屋市民芸術祭特別賞を受賞するなど実績は十分。

教育者としても名古屋芸術大学、愛知県立芸術大学、千葉商科大学などで教鞭を執っている。その他、アメリカ、ヨーロッパを始めとした海外の教育機関でも特別講演を多数行い、後進の育成にも積極的に取り組んでいる。

これまでに培ってきた豊かな経験と、常に新しい音楽表現を追求し続ける姿勢から、今後もその活動の幅を広げ、さらなる活躍が期待される。

令和7年度 名古屋市芸術賞受賞者の概要

芸術奨励賞 ろんと LONTO 演劇（道化師）



平成 11（1999）年より国内外で道化を学び、道化師としての活動を開始。平成 17（2005）年からは、言葉を用いないノンバーバル表現による独自の作風を確立。同年に開催されたアメリカ道化師世界大会（WCA）では、個人・団体部門共に金賞を受賞し、国際舞台においてもその卓越した表現力と創造性を早くから示している。平成 30（2018）年には、Chang 氏とタッグを組み、道化をはじめとした多様な表現を追求し、広く発信するため「ラストラダカンパニー」を設立。障がいや国籍を超えて隔たりなく伝わる舞台演劇を創り上げ、当地域を中心とした全国各地での巡演を通じ、老若男女が文化芸術に親しむ機会を広げている。

同年には、演出・美術を手掛けるとともに、自らも出演した「コメディ・クラウン・サーカス」が厚生労働省児童福祉文化賞（舞台芸術部門）を受賞。令和 5（2023）年には「らふいゆれふいゆ」がこども家庭庁児童福祉文化賞推薦作品受賞。さらに、愛知県芸術文化選奨文化新人賞も受賞するなど、その活躍は近年ますます高く評価されている。

道化師としての活動にとどまらず、自身の身体表現技法を活かし、劇団指導や伝統芸能との共演にも取り組む。さらに、教育機関や企業向けの研修など、多様な分野へ活動の場を広げている点も特徴と言える。こうした唯一無二の創作活動を通じて舞台演劇の新たな可能性を切り開く LONTO 氏の挑戦は、今後さらなる飛躍が期待される。

令和7年度 名古屋市芸術賞受賞者の概要

芸術奨励賞 ^{しばた}柴田 ^{まい}麻衣（45歳） 美術



昭和 54（1979）年、愛知県生まれ。平成 14（2002）年、名古屋芸術大学大学院美術研究科美術専攻同時代表現研究を修了。平成 16（2004）年、ギャラリーDECO（名古屋市）にて初個展を開催。以降、当地域を中心に東京都、大阪府、京都府などで多数の個展を開催するなどして活躍を続けている。

平成 25（2013）年には若手作家の登竜門とも称される「VOCA 展」で奨励賞を受賞。その後も平成 29（2017）年に、個展「重層する風景（第一生命ギャラリー／東京都千代田区）」を開催。平成 30（2018）年には「Art Next 3 不透明なメディウムが透明になる時（電気文化会館／名古屋市）」、平成元（2019）年には「情の深みと浅さ（ヤマザキマザック美術館／名古屋市）」などのグループ展にも出展。令和 5（2023）年の「愛知県美術館コレクション展（愛知県美術館／名古屋市）」では、同美術館に収蔵されている柴田氏の作品が展示された。

柴田氏の作品は「空間・風景・思想」を独自の視点で描き、精神性、哲学性、内面世界の表現技法に卓越している。抽象と具象を織り交ぜ、独自のレイヤー構造で光と色の静謐な奥行きを表現し、観る者の感情や思索を喚起する独自の作品世界を構築。作品テーマは、歴史、宗教、環境問題など多岐にわたり、年々その活動を深化させている。

こうした挑戦的な創作姿勢は着実に評価を高めつつあり、新たな表現領域を切り開くさらなる活躍が期待される。

事項	「なごや環境学習プラン 2030（案）」に係るパブリックコメントの実施について
内容	<p>1 趣旨 本市が多様な主体との連携・協働のもと、環境学習を進めていくための2030年度までの具体的な施策を示した「なごや環境学習プラン2030（案）」の策定を進めています。今回、プラン案を作成しましたので、下記のとおりパブリックコメントを実施します。</p> <p>2 資料 別添「なごや環境学習プラン2030（案）概要版」</p> <p>3 市民意見の募集期間 令和8年1月20日（火）から令和8年2月18日（水）まで</p> <p>4 資料の配布・閲覧場所 市民情報センター、各区役所情報コーナー・支所、市図書館、環境学習センター、市公式ウェブサイトなど</p> <p>5 配布・閲覧資料 プラン（案）概要版：配布 プラン（案）本編冊子：閲覧用に配架</p> <p>6 意見の提出方法・提出先 提出方法：郵便、ファクシミリ、電子メール、持参 提出先：環境局環境企画部環境企画課（環境学習センター）</p>
備考	本件は、令和8年1月20日に市政記者クラブへ資料提供予定です。

みなさまのご意見をお待ちしています！



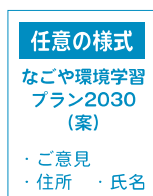
本市が多様な主体との連携・協働のもと、環境学習を進めていくための2030年度までの具体的な施策を示した「なごや環境学習プラン2030（案）」を作成しました。

プラン（案）に対するみなさまのご意見をお寄せください。

ご意見の提出について



または



ご意見・住所・氏名をご記入

提出方法

※「ご意見提出用紙」または任意の様式に、ご意見・住所・氏名をご記入のうえ、郵便・ファックス・電子メール・持参によりご提出ください。

※任意の様式の場合は、「なごや環境学習プラン 2030（案）」に対するご意見であることを明記してください。

※電話または来庁による口頭でのご意見はお受けできませんのでご了承ください。

※お寄せいただいたご意見につきましては、本市の考え方とあわせて公表する予定です。個別の回答はいたしませんのでご了承ください。

※個人情報につきましては、個人情報の保護に関する法律に基づき、適切に取り扱うとともに、本業務以外での利用は一切行いません。

意見募集期間

令和 8 年

1月20日(火)～
2月18日(水)

※郵送の場合は消印有効です。
ご持参いただく場合は
受付時間内にお持ちください。

プラン案(本編)の閲覧及び概要版の配布

■ 以下の場所でプラン案（本編）を閲覧、概要版を配布しております。

- 市民情報センター（市役所西庁舎 1 階）
- 区役所情報コーナー・支所
- 市図書館、環境学習センターなど

■ **名古屋市公式ウェブサイト**

<https://www.city.nagoya.jp/shisei/kouchou/1028305/1028307/1043085.html>



パブリックコメントのページでもご覧いただけます。

※点字版、音声変換用テキストファイルをご希望の方は、
下記の問い合わせ先までご連絡ください。

提出先・お問い合わせ先

名古屋市 環境局
環境企画部 環境企画課
(環境学習センター)

- 郵送 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目 23 番 13 号 伏見ライフプラザ 13 階
 ■ 電話 052-223-1066 ■ FAX 052-223-4199
 ■ 電子メール a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp
 ■ 受付時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 00 分 ※休館日（毎週月曜日）を除く

なごや環境学習プラン2030策定にあたって

趣 旨

本市では、「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」に基づく行動計画として、2016年に「なごや環境学習プラン」を策定し、環境学習の取り組みを進めてきました。

その後、プラン策定から10年が経過する中で、脱炭素社会の実現、循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行をはじめとした環境問題を巡る世界的な動きが加速化しています。また、2030年までの世界共通の目標として、「持続可能な開発目標（SDGs）」が広く知られるようになり、国においても達成に向けた取り組みが進められています。

これらの動向に対応し、さらなる環境学習を推進するため、前プランを改定し、「なごや環境学習プラン2030」を策定しました。

基本理念

環境学習を通じて、一人ひとりが、
環境問題を自らの課題として捉え、
その解決に向け、主体的に
行動できる人づくりを、
多様な主体とのパートナーシップに
より進めることで、
持続可能な社会の実現を目指します。

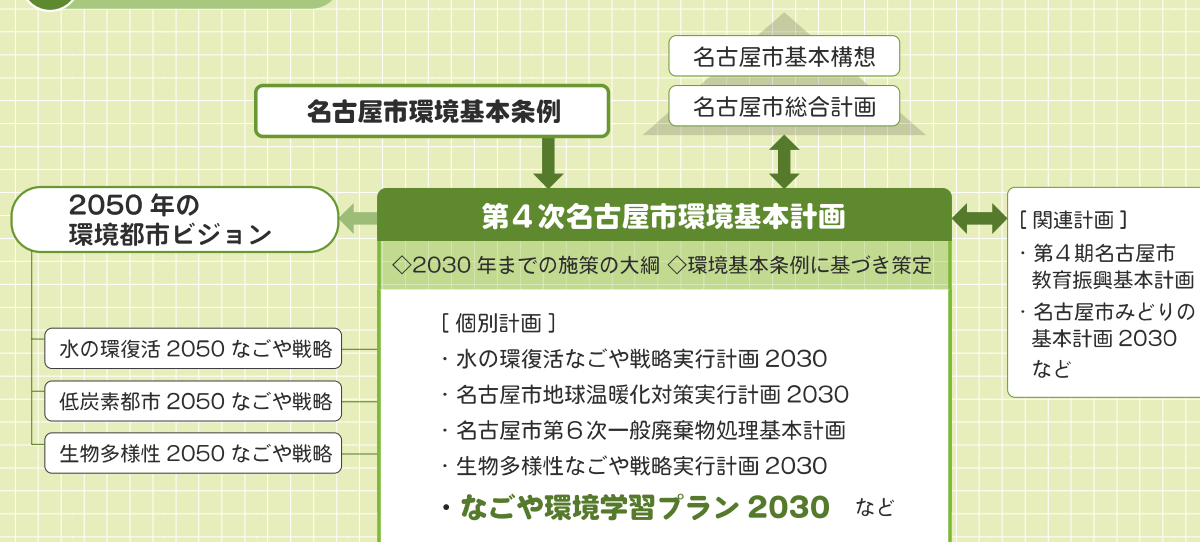
対 象

未来を支える子ども・若者をはじめ、
本市に住み、学び、働く、全ての人
を対象とします。

計画期間

2026年度から2030年度までの
5年間とします。

位置づけ



なごやの現状

なごやを取り巻く状況、環境学習における取り組みの現状や課題について、「強み」「弱み」「機会」「脅威」の4つのカテゴリーで整理・分析するSWOT分析を行いました。

S

強み

- ・「ごみ非常事態宣言」を契機とした市民のごみ減量への高い意識
- ・環境をテーマとした国際会議の誘致を契機とした環境意識の向上(COP10、ESDユネスコ世界会議、TEMM24など)
- ・SDGs未来都市選定を契機としたSDGs達成に向けた機運の向上
- ・「藤前干潟(ラムサール条約登録湿地)」や「なごや東山の森(自然共生サイト)」などの重要な自然が保全
- ・世界レベルの産業技術が集積
- ・国内有数の大学の集積地
- ・環境学習センターによる学校教育の支援
- ・なごや環境大学の学び合いのネットワークづくり
- ・なごや環境大学講座企画団体をはじめとする市民団体の活躍
- ・環境リポーターの活躍
- ・「なごやエコキッズ・なごやエコスクール認定制度」に多くの園・学校が参加
- ・「なごやSDGsグリーンパートナーズ制度」に多くの事業所が参画
- ・環境保全活動を社会的責務と捉える事業者が多い

W

弱み

- ・各主体の連携や協働が不十分
- ・コロナ禍を契機に子どもや若者が環境施策に継続的に参画できる機会の減少
- ・子どもたちが身近な自然や地域の中で学ぶ機会が少ない
- ・環境に関する市民への情報発信が不十分
- ・環境学習センターの休日の利用者が少ない
- ・なごや環境大学の参加者数の伸び悩み及び講座分野の偏り
- ・市民団体内の人材・後継者不足、資金不足
- ・市民ボランティアの担い手不足
- ・環境学習プログラムガイドを利用する園・学校が一部に偏り
- ・学校現場で環境教育を実施するための時間不足
- ・環境学習として藤前干潟を利用する学校が少ない

O

機会

- ・SDGs達成に向けた機運の向上
- ・脱炭素社会や循環経済への移行に向けた動きの加速
- ・ネイチャーポジティブ、30by30などの新たな生物多様性に関する世界目標
- ・コロナ禍を契機とした価値観や働き方の変化
- ・デジタル化の急速な進展
- ・SNSやインターネット動画などの情報媒体の多様化
- ・キャリア教育への期待の高まり

T

脅威

- ・市内の自然環境及び生物多様性の減少
- ・豪雨災害や台風などの気候変動の危機
- ・海洋プラスチックごみなどの地球規模の環境汚染
- ・人口減少・少子化・高齢化に伴う人口構造の変化
- ・多様化する学校へのニーズと教職員の負担増

みんなで目指す将来の姿

本プランの基本理念やなごやの環境学習の実態などを踏まえ、環境学習に取り組む主体を「市民」「市民団体」「事業者」「教育機関」「行政（名古屋市）」に分け、各主体と各主体間の連携において、10年、20年先を見据えた目指す将来の姿を示します。

基本 理念

環境学習を通じて、
一人ひとりが、
環境問題を自らの
課題として捉え、
その解決に向け、
主体的に行動できる
人づくりを、
多様な主体との
パートナーシップに
より進めることで、
持続可能な社会の
実現を目指します。

- 子どもから大人まで身近に環境の大切さを感じられる場がある
- 環境問題は「自分ごと」という意識が芽生え、行動につなげている
- 家族や地域の人と協力しながら環境活動に取り組んでいる



各主体が対等な立場で
お互いに協力しながら
取り組むことにより、
相乗効果が生まれ、
持続可能な社会の実現
に近づきます。



- 取り組む分野に応じた専門的な知識や情報などを活用し、環境活動に取り組んでいる
- 後継者が育ち、活動資金が確保され、安定的な組織運営ができている

将来の姿

- 自らの責務として環境に配慮した事業活動や社会貢献活動に取り組んでいる
- 環境に配慮した取り組みが企業価値の向上にもつながり、組織の成長にも貢献している
- 事業者の持つ技術力や場（店舗や工場など）を活用し、家庭や地域、学校などにおける学びの場を提供している

事業者



各主体間の連携



- 各主体が置かれている現状について、お互いが共有し、理解している
- 連携・協働による取り組みの成果が可視化され、取り組みが広がり、深まっている
- 中間支援（コーディネーター・マッチングなど）の仕組みが、効果的に活用されている

行政 (名古屋市)



- 環境情報を幅広く収集し、市民に分かりやすい形で発信している
- 多様な主体が対話する場を創出することで、協働につなげている
- 各主体の協働を促進するためのコーディネートを行っている

教育機関



- 全ての子どもが環境の大切さを感じられる場や人と出会うことで、自ら学びを進め、深めている
- 多様な主体との連携や地域資源、ICTを活用した環境教育を実施している
- 教育現場での学びが子どもたちを通して、家庭や地域に広がっている

施策の体系

本市における環境学習の現状や課題を踏まえつつ、「みんなで目指す将来の姿」の実現に向けて、2030 年度までに本市が取り組む環境学習の施策の体系を以下のとおり示します。

基本 理念

環境学習を通じて、
一人ひとりが、
環境問題を自らの
課題として捉え、
その解決に向け、
主体的に行動できる
人づくりを、
多様な主体との
パートナーシップに
より進めることで、
持続可能な社会の
実現を目指します。

施策横断的に重視する視点

視点 ①

多様な主体のパートナ
ーシップによる取り組み

視点 ②

子ども・若者を中心とした
次世代の人材育成

視点 ③

主体的な行動につなげるための
体験学習の推進

視点 ④

ICT を活用した学習の推進

地域や家庭、学校、事業活動などの様々な場で環境学習を推進し、これらをつなぐ環境学習の拠点やネットワークの強化をはかることで、環境学習の充実を目指します。

施策の体系

みんなで目指す将来の姿の実現に向けた施策・施策の柱



施策1

地域や家庭における
環境学習の機会の充実

- ①環境学習の場としての地域資源の積極的活用
- ②多様なニーズに応じた学びの機会の充実
- ③調査・研究、社会実験などの活動に参画する機会の提供
- ④多様な媒体を活用した情報の発信



施策2

学校など教育現場に
おける環境学習の充実

- ①発達段階に応じた環境学習プログラムや教材の充実
- ②優れた環境教育の取組事例の発掘・発信
- ③環境を考慮した学校施設の整備促進
- ④大学などとの連携による将来を創る人材育成の推進
- ⑤環境学習を推進する教職員に対する支援



施策3

環境にやさしい事業活動を通した環境学習の促進

- ①事業者などが行う環境学習の機会の提供
- ②事業者による優良事例や先進的な取り組みの情報発信
- ③市役所自らの取り組みを進めるための市職員への学びの機会の提供



施策4

環境学習の拠点・
ネットワークの強化

- ①環境学習センター（エコパルなごや）の機能強化
- ②なごや環境大学をはじめとする各主体をつなげる機能の強化
- ③周囲や社会に伝えることのできる人材の育成・活用
- ④国や地域を越えた交流の促進

施策の方向性



施策
1

地域や家庭における環境学習の機会の充実

施策の柱	主な事業
1 環境学習の場としての地域資源の積極的活用	<ul style="list-style-type: none"> なごや環境大学「ユース提案型湿地の未来プロジェクト」 なごや生物多様性センターのリソースを活用した普及啓発イベントの実施
2 多様なニーズに応じた学びの機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや若者が主体的に参画するための場づくり 子どもの体験活動の推進
3 調査・研究、社会実験などの活動に参画する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> なごや環境大学における社会実験・プロジェクト事業の充実 なごやいきものクエストの開催
4 多様な媒体を活用した情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> 循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行に向けた情報発信の強化 環境学習センター（エコパルなごや）のウェブサイトによる情報発信



施策
2

学校など教育現場における環境学習の充実

施策の柱	主な事業
1 発達段階に応じた環境学習プログラムや教材の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育における藤前干潟の利用拡大 園・学校などにおける環境学習センター（エコパルなごや）の活用促進
2 優れた環境教育の取組事例の発掘・発信	<ul style="list-style-type: none"> なごやエコキッズ・エコスクール認定園（校）の取り組みの共有・展開 SDGs 達成の担い手づくり推進事業
3 環境を考慮した学校施設の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会の実現に向けた施設整備の推進
4 大学などとの連携による将来を創る人材育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> なごや環境大学におけるユース世代の参画促進 なごや生物多様性センターにおけるユース世代のさらなる参画促進
5 環境学習を推進する教職員に対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイト「なごや SDGs 街」の活用促進 「なごや環境大学」における SDGs 学習ツールの充実



施策

3

環境にやさしい事業活動を通した環境学習の促進

施策の柱	主な事業
1 事業者などが行う環境学習の機会の提供	<ul style="list-style-type: none">● カーボンニュートラルに資する技術を学ぶ講座などの開催● 事業者が企画・運営する講座の拡充
2 事業者による優良事例や先進的な取り組みの情報発信	<ul style="list-style-type: none">● なごやSDGs グリーンパートナーズの運用● 都心の生きもの復活事業の推進
3 市役所自らの取り組みを進めるための市職員への学びの機会の提供	<ul style="list-style-type: none">● なごや環境マネジメントシステム (N-EMS) における職員研修などの実施



施策

4

環境学習の拠点・ネットワークの強化

施策の柱	主な事業
1 環境学習センター（エコパルなごや）の機能強化	<ul style="list-style-type: none">● 来館促進のための仕組みづくり● バーチャルスタジオやワークショップの新規プログラムの作成
2 なごや環境大学をはじめとする各主体をつなげる機能の強化	<ul style="list-style-type: none">● なごや環境大学におけるコーディネート機能の充実● なごやネイチャーポジティブパートナー制度の運用
3 周囲や社会に伝えることのできる人材の育成・活用	<ul style="list-style-type: none">● 環境サポーター制度の充実● なごや環境大学の講座企画団体などへの支援の充実
4 国や地域を越えた交流の促進	<ul style="list-style-type: none">● 世界湿地都市ネットワークへの参画● 国内外のラムサール条約登録湿地との交流事業の実施



プランの進行管理

本プランの推進にあたっては、市民・市民団体・事業者・教育機関・行政などの多様な主体のパートナーシップによる取り組みを進めるため、下記の方法で進行管理を行います。

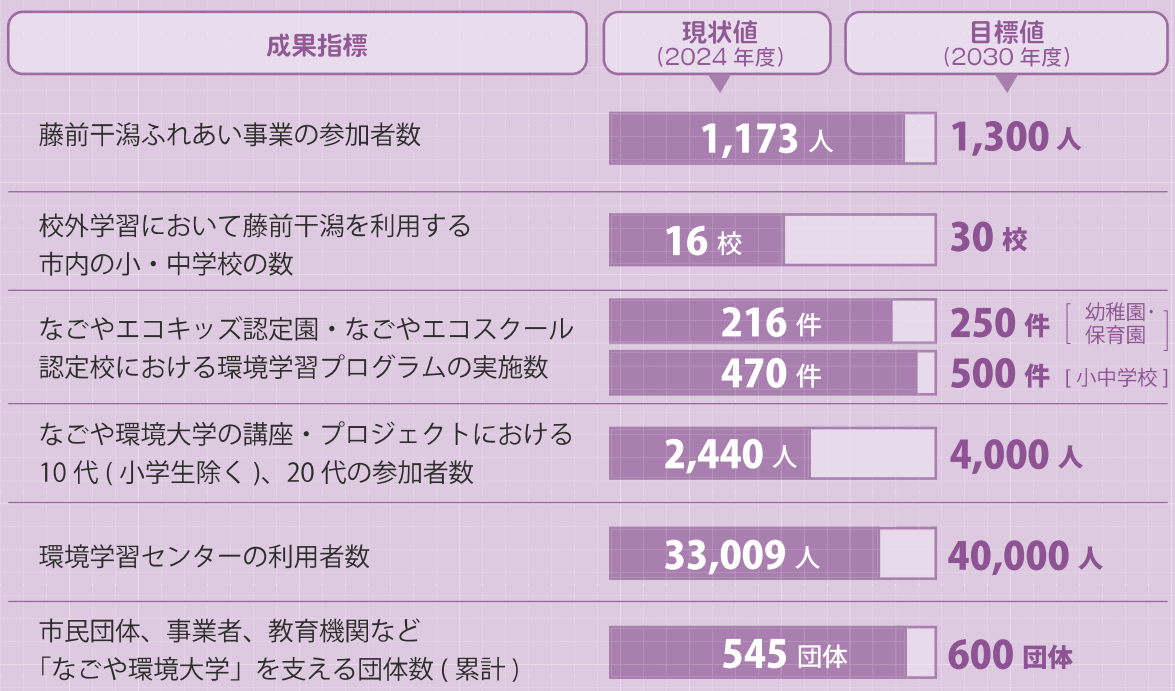
進捗状況の把握

プラン全体の達成度合を測るため、下記の項目について指標と目標値を設定します。

■ ①市民の意識や行動の変化を測る成果指標



■ ②施策の進捗状況を測る成果指標



多様な主体との意見交換

子ども・若者をはじめ、市民・市民団体・事業者・教育機関など多様な主体からの意見を聴く機会を設け、指標では測れない課題などを把握し、意見を積極的に取り入れながら、効果的な施策展開をはかっていきます。

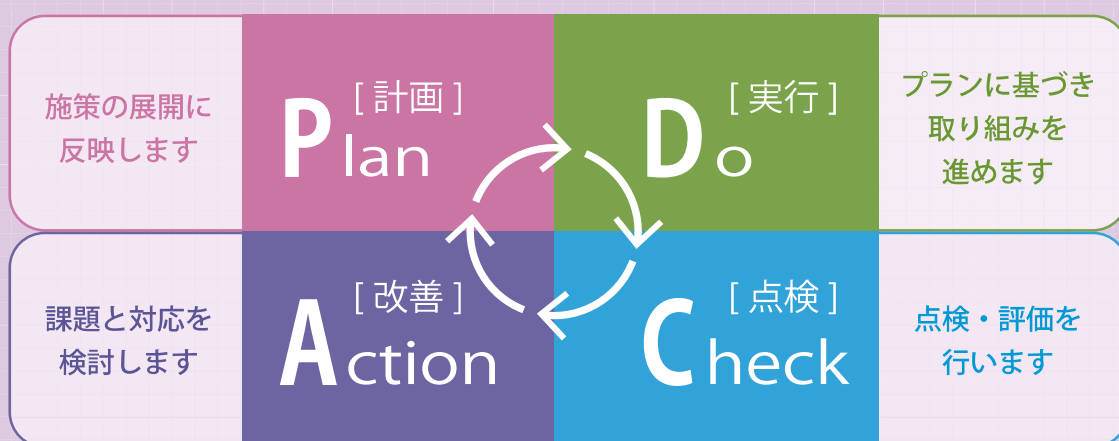


なごっちサミット「みんなの意見がなごやの環境を守る！ まち しぜんエコカフェ*」の様子(2024年11月実施)

* 「なごや環境学習プラン」を新しく作成するために、なごやの自然や暮らしを守る人を増やす方法について、興味のあるテーマを選んで話し合い、グループで意見をまとめて発表。

進捗状況の公表

施策の成果指標や実施状況などは、毎年度、市公式ウェブサイトに公表するほか、主な取り組みを「名古屋市環境白書」において公表し、各主体と進捗状況を共有します。



なごや環境学習プラン2030(案) 概要版

● 名古屋市 環境局 環境企画部 環境企画課 (環境学習センター)

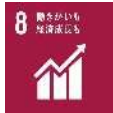
■ 〒460-0008

名古屋市中区栄一丁目 23 番 13 号 伏見ライフプラザ 13 階

■ 策定年月 令和 8 (2026) 年 月

■ 電話番号 052-223-1066 ■ FAX 052-223-4199

■ 電子メール a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp



幹 部 会 報 告 事 項
令 和 8 年 1 月 1 9 日
ス ポ ー ツ 市 民 局
子 ど も 青 少 年 局

事項

令和7年度名古屋市子育て支援企業・女性の活躍推進企業認定・表彰の決定について

説明

1 認定・表彰式

日 時	令和8年1月29日(木)14:00～16:00（受付 13:30～）
場 所	男女平等参画推進センター・女性会館3階 ホール(名古屋市中区大井町7番25号)
内 容	<div>・認定・表彰式</div> <div>・表彰企業による事例発表</div> <div>※子育て支援企業 最優秀賞 大有建設株式会社</div> <div>※女性の活躍推進企業 最優秀賞 株式会社丸天産業</div>

2 令和7年度認定・表彰企業

(1)表彰企業（表彰理由は別紙1参照）

【子育て支援企業】

区分	企業名	
最優秀賞	大有建設株式会社	
優秀賞	株式会社あいち銀行	株式会社サンゲツ
	株式会社デンソークリエイト	マックスバリュ東海株式会社

【女性の活躍推進企業】

区分		企業名
企業部門	最優秀賞	株式会社丸天産業
	優秀賞	マックスバリュ東海株式会社
従業員部門		株式会社丸天産業 土方 亜紀

(2) 認定企業新規認定企業 (別紙2 参照)

項目	認定の別	企業数
新規認定企業 (別紙2 参照)	子育て支援企業	16 社(表彰企業 2 社を含む)
	女性の活躍推進企業	17 社(表彰企業 2 社を含む)
更新認定企業	子育て支援企業	72 社(表彰企業 3 社を含む)
	女性の活躍推進企業	54 社

3 認定企業数(令和 8 年 1 月 29 日時点)

認定の別	企業数
子育て支援企業	合計 289 社
女性の活躍推進企業	合計 218 社

※上記とは別に、女性の活躍推進認証企業数合計 53 社

備考

本件は、本日市政記者クラブへ資料提供する予定です。

(スポーツ市民局市民生活部男女平等参画推進課 内線 2234)
(子 ど も 青 少 年 局 企 画 経 理 課 内線 3081)

令和 7 年度名古屋市子育て支援企業・女性の活躍推進企業 表彰理由一覧

1 子育て支援企業 5 社(区分ごとに五十音順)

区分	企業名	表彰理由
最優秀賞	大有建設株式会社	<p>育児に関する社内アンケートの実施や社員等で構成するワーキンググループを開催し、積極的に社員の声を取り入れる姿勢がある。また、育休開始から 10 日間の給与保障、子の看護休暇・育児短時間勤務を子の中学校就学始期まで延長、時差勤務など様々な制度を整備し、積極的に子育て支援に関する取り組みをすすめている。</p> <p>その結果、男性の育休取得率が 80%超を達成し、男女ともに仕事と子育てを両立しやすい環境が整備されている。</p> <p>地域貢献についても、多数のインターン生の受け入れや職場見学の実施を始め、様々な取り組みを行っていることも評価でき、子育て支援企業として模範的な企業といえる。</p>
優秀賞	株式会社あいち銀行	<p>多様なメンバーで構成されるダイバーシティ推進委員会（通称：あいち一む）を設置し、行員の声を取り入れる仕組みが整備されている。</p> <p>男性社員の育休取得推進のため、トップメッセージ「男性育休 100%宣言」が発信されており、産後パパ育休は保存有給休暇を 10 日まで充当可能とするなど法定を上回る対応となっているほか、育休復帰支援では、育休中はパパママ復職支援セミナーを託児付きで開催し、復帰直後は復帰時研修として、ならし期間を 5 日間設けるなど、育休取得者の声を取り入れた手厚い配慮がされている。</p> <p>多様な人材が安心して働き続けられるよう配慮された様々な取り組みが全方位的に実施され、企業全体で子育て支援を推進していく姿勢が評価できる。</p>

優秀賞	株式会社サンゲツ	<p>テレワーク制度のフレキシブルな運用、フレックス制度のコアタイム廃止や時間有給休暇制度導入等、柔軟な働き方を可能とする制度が整備されている。</p> <p>男性社員の育休取得促進に向けては、取得日数が少ないなど形式的な取得にならないように配慮するため、管理職への研修を実施するほか、出生時育休の5日間と、配偶者出産休暇も有給化するなどして、2週間の育休取得率100%を達成しており、男女ともに仕事と子育てを両立しやすい環境が整っている。</p>
優秀賞	株式会社デンソークリエイト	<p>短時間勤務制度を子の小学校卒業時まで利用可能としたり、残った有給休暇を積み立てて子の傷病時等に利用できるやすらぎ休暇という独自制度を設けるなど、積極的に子育て支援の取り組みをすすめている。</p> <p>育休を取得することによるキャリアへの不安を軽減するために、長期的なキャリア支援の啓発活動を実施した結果、男性社員の育休取得期間が平均3ヶ月程度となるなど成果に繋がっている。また、所定外労働時間が多くなりがちなソフトウェア開発業務であっても、特定の社員に残業時間が偏らないように配慮しており、全社員が能力を最大限発揮し、柔軟に働き続けられる環境を作っていこうとする姿勢が評価できる。</p>
優秀賞	マックスバリュ東海株式会社	<p>育児休業は3歳に達する前日まで、短時間勤務は中学校就学前まで取得可能など、高水準な子育て支援制度が整備されている。女性社員が短時間勤務をしながら店舗の店長を務めている事例もあり、スーパーバイザーのフォローや職場への理解促進など職場全体で子育て世代を支援する体制となっており、仕事と子育てを両立できる環境が整っている。男性の育休取得は、管理職に率先して取得するように促した結果、市内店舗での取得率100%を達成している。</p> <p>地域貢献についても、スーパーマーケットという業務の特性を活かして、地域の食材について理解を深めるイベント「わくわくじもの体験」など積極的な取り組みをすすめていることも評価できる。</p>

2 女性の活躍推進企業（区分ごとに五十音順）

(1) 企業部門 2 社

区分	企業名	表彰理由
最優秀賞	株式会社丸天産業	<p>“人”を大切にする企業理念のもと、女性活躍推進を経営課題として位置付け、女性管理職比率の向上を目指し、目標値を上回る 40%を達成した点は高く評価できる。女性管理職の増加を契機に、働きやすさの向上や職場環境の改善が進み、すべての従業員が仕事と家庭を両立しやすい職場風土の醸成につなげている。</p> <p>また、子連れ出社を可能とする柔軟な働き方の導入や、共働き夫婦を対象とした研修の実施など、先進的な取組を積極的に展開している。さらに、自社にとどまらず、他社も参加可能な研修や交流の場を設けることで、地域全体に女性活躍推進の取組を広げるなど、本地域を牽引する役割を果たしている。</p>
優秀賞	マックスバリュ東海株式会社	<p>トップ自らの発信やイクボス検定の実施、管理職向け研修を通じて、性別にかかわらず誰もが活躍できる職場づくりの重要性を、組織全体に着実に浸透させていることが高く評価できる。</p> <p>また、女性従業員を対象とした勉強会の開催による意識醸成に加え、継続的なフォローアップを行うことで、女性管理職数の着実な増加につなげている。</p> <p>さらに、短時間勤務制度や、ライフステージに応じた柔軟なシフト・配置を行うなど、男女を問わず育児休業からの円滑な復職と、その後のキャリア形成を支援しており、他企業の参考となる好事例である。</p>

(2) 従業員部門 1 名

区分	企業名	表彰理由
表彰	株式会社丸天産業 土方 亜紀	自社の営業職として初めて育児休業を取得した後、自社の中核プロジェクトのリーダーを務め、限られた時間の中でも着実に成果を上げてきた点が高く評価できる。 部下一人ひとりに寄り添い、成長を促しながら主体性を発揮できるよう支援するなど、自分らしいマネジメントスタイルを確立し、組織を牽引した。 また、女性管理職として仕事と家庭を両立しながら活躍する姿は、社内にとどまらず社外に対してもロールモデルとして好影響を与えることが期待できる。

令和7年度名古屋市子育て支援企業・女性の活躍推進企業 認定・表彰企業一覧

1 子育て支援企業 19社(区分ごとに五十音順) (※表彰企業のうち3社は更新企業)

	区分	企業名	本社所在地	事業内容	従業員数	(うち女性従業員数)
※	最優秀賞	大有建設株式会社	名古屋市中区金山五丁目14番2号	建設業	417	78
※	優秀賞	株式会社あいち銀行	名古屋市中区栄三丁目14番12号	金融・保険業	3,190	1,471
※	優秀賞	株式会社サンゲツ	名古屋市中区堀下二丁目4番1号	卸売・小売業	1,701	681
	優秀賞	株式会社デンソークリエイト	名古屋市中区錦二丁目14番19号 名古屋伏見Kスクエア	情報通信業	298	45
	優秀賞	マックスバリュ東海株式会社	静岡県浜松市中央区篠ケ瀬町1295番地1	卸売・小売業	20,379	14,075
	認定	有限会社愛協	名古屋市中区鳴丘二丁目1408番地	建設業	35	3
	認定	株式会社井藤工業	名古屋市中区源兵衛町4-30	建設業	14	3
	認定	桜和設備株式会社	名古屋市中区五番町17番17号	建設業	95	15
	認定	株式会社GE	名古屋市中区川西二丁目1202番地	建設業	3	0
	認定	株式会社新栄コーポレーション	名古屋市中区八剣二丁目802番地の2	建設業	3	0
	認定	株式会社新日	名古屋市中川区山王一丁目8番30号	サービス業 (他に分類されないもの)	99	20
	認定	株式会社大建コンサルタント	名古屋市中区大須四丁目11番17号	サービス業 (他に分類されないもの)	27	4
	認定	株式会社中京技研	名古屋市中区井の森町203番地	建設業	12	1
	認定	株式会社東海電工社	名古屋市中区丸の内三丁目6番25号	建設業	25	2
	認定	株式会社トキト	大阪府堺市中区土師町4-5-17	建設業	39	15
	認定	株式会社ナゴヤグリーンサービス	名古屋市中区昭和区車田町一丁目27番地	建設業	4	1
	認定	株式会社ハシモト	名古屋市中区大西二丁目135-3	建設業	11	3
	認定	三菱電機株式会社	東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル	製造業	36,256	6,621
	認定	名岐ワークス株式会社	名古屋市中区城町124-1	建設業	16	3

2 女性の活躍推進企業(区分ごとに五十音順)

(1)企業部門 17社

区分	企業名	本社所在地	事業内容	従業員数	(うち女性従業員数)
最優秀賞	株式会社丸天産業	名古屋市中区栄5-10-34	卸売・小売業	55	22
優秀賞	マックスバリュ東海株式会社	静岡県浜松市中央区篠ヶ瀬町1295 番地1	卸売・小売業	20,379	14,075
認定	株式会社アイエスシイ	名古屋市中区昭和区福江2-9-33 nabi/白金2F	その他	34	10
認定	株式会社 I T A G E	名古屋市中区栄三丁目18 番1 号	情報通信業	122	30
認定	大池建工株式会社	名古屋市中区大杉二丁目7 - 1 5	建設業	22	6
認定	シーズウェブ株式会社	名古屋市中村区名駅南1 丁目18 番11 号コア・ビル3 階	情報通信業	20	9
認定	大成株式会社	名古屋市中区栄3-31-12	サービス業(他に分類されないもの)	5,194	3,138
認定	株式会社テクノプラス	名古屋市中区塩屋町5-1-1	製造業	91	35
認定	株式会社デンソークリエイト	名古屋市中区錦二丁目14番19号 名古屋伏見Kスクエア	情報通信業	298	45
認定	東洋技研コンサルタント株式会社	大阪府大阪市淀川区新北野1 丁目14 番11 号	サービス業(他に分類されないもの)	148	33
認定	株式会社TONZAKOデザイン	名古屋市中区丸の内2-13-32 リブラ丸の内3-2 階	サービス業(他に分類されないもの)	11	9
認定	株式会社中嶋造園土木	名古屋市中区栄三丁目1 2 番6 号	建設業	24	4
認定	日本システム開発株式会社	名古屋市中村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル 9F	情報通信業	489	74
認定	株式会社マザーズ	名古屋市中区新道1 丁目2番5号	医療、福祉	443	323
認定	株式会社マネジメントソリューションズ	東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー29 階	サービス業(他に分類されないもの)	1,425	491
認定	ヤマダインフラテクノス株式会社	名古屋市中区緑区上納山一丁目1504 番	建設業	173	14
認定	立志建設株式会社	名古屋市中区守山区大字上志段味字深田782 番1	建設業	20	4

事 項	美術館イベント『博物館浴®』で癒されませんか！ in 名古屋市美術館』の開催について
内 容	<p>1 概 要</p> <p>名古屋市美術館では、美術館の新しい魅力の発見や社会での新たな役割・価値の発掘を目指し、九州産業大学と連携して「博物館浴®」のワークショップを行います。</p> <p>美術館で開催中の特別展「コレクション×現代美術 名古屋市美術館をめぐる4つの対話」(3月8日(日)まで開催)を「見る」ことで「博物館浴®」を体験し、その効果測定を行います。あわせて、講師の緒方泉氏(九州産業大学特任教授)より、「博物館浴®」の科学分析法、研究の今についてお話いただきます。</p> <div><p>「博物館浴®」とは、博物館(博物館法に定める施設の総称;歴史、美術、自然史などを扱う)の持つ癒し効果を人々の健康増進・疾病予防に活用する活動です。</p></div> <p>2 ワークショップの開催要項</p> <p>タイトル：『博物館浴®』で癒されませんか？ in 名古屋市美術館』</p> <p>講 師：緒方泉(九州産業大学地域共創学部 特任教授)</p> <p>日 時：2026年2月1日(日曜日)</p> <p>場 所：美術館1階・2階企画展示室及び講堂</p> <p>参加者：午前の部 10:00～12:30 一般対象 20 名 午後の部 13:30～16:00 大学生対象 20 名 ※参加者の募集はすでに終了しています。</p> <p>主 催：名古屋市美術館、九州産業大学</p> <p>3 「博物館浴®」ワークショップの内容</p> <p>美術館へ行くと「絵を見るとうっとりする」「気分が晴れやかになった」などの感想を聞くことができますが、これまで、これらは個人的感想で、科学的根拠がありませんでした。</p> <p>本ワークショップでは、「博物館浴®」の実証実験を日本全国でこれまで100か所以上で行ってきた緒方泉氏(九州産業大学特任教授)を迎え、展示の鑑賞前と鑑賞後に生理的測定(血圧、脈拍)、心理的測定(感情評価)を行い、リラックス効果を科学的に分析する研究の現場を体験します。美術鑑賞という「学び」の場だけでなく、「健康・ウェルビーイング」を支える場という美術館の新たな役割・価値について考えます。</p> <p>【プログラム内容】</p> <ol style="list-style-type: none">① 実験方法の説明、鑑賞前の測定② 「名古屋市美術館をめぐる4つの対話」を一人で“黙々”鑑賞③ 鑑賞後の測定④ 「名古屋市美術館をめぐる4つの対話」を“おしゃべり”鑑賞⑤ 鑑賞後の測定⑥ 「博物館浴®」研究の今
備 考	本件は、本日、市政記者クラブへ資料提供します。

これまでの「博物館浴」実証実験で 分かってきたことは？

博物館に行くと、「広くて落ち着く」「絵を見ると、うっとりする」などの声を聞くことがあります。しかし、これは個人の感想で、科学的な根拠はありませんでした。

そこで、博物館の作品や資料を鑑賞する前後に、生理測定(血圧、脈拍)、心理測定(POMSなど質問紙)を行い、リラックス効果を判定する実証実験を2020年9月から始めました。

現在までに全国の博物館延べ90館の協力を得て、1,300人以上の科学的データを収集してきました。以下のように自律神経の改善に効果があることが明らかになりました。

- ① 見学時間が10分、20分、30分でもリラックス効果に影響があった。
- ② 美術系、歴史系、民俗系、考古系、自然史系など、いろいろな博物館でもリラックス効果に影響があった。
- ③ 高血圧の人は下がり、低血圧の人は上がるというように、恒常性に戻ろうとすることに影響があった。
- ④ 「博物館によく行く人」でも、「博物館にあまりいかない人」でも、リラックス効果に影響があった。

これまでの参加者の声



心と体の変化が数値で分かり、面白い。
おしゃべりして鑑賞すると、明るい
気分になった。
/高校生



博物館浴と聞いて、最初は信じられ
なかったが、鑑賞後の数字が下がり、
びっくりした。
/大学生



博物館浴は、これまでの敷居が高いと
感じていた博物館のイメージを低く
してくれる。
/会社員



博物館浴と聞いて面白いと思った。
静けさがリラックスにつながる
ことがよく分かる。
/高齢者

「博物館浴」のこれから

健康は、「運動、食事、つながり」の3本柱で成り立ちます。博物館は作品や資料、時間、そして人が「つながる」場です。「博物館浴」を取り入れると、レジリエンス効果が高まり、ストレスが軽減し、仕事のパフォーマンス向上が期待できます。

今後も科学的データを収集することで、ヘルスケア産業分野の新たな事業やプログラムの開発、例えば、「今日のあなたの自律神経の状態に合わせた最適な作品や資料の紹介アプリ＝『博物館浴健康アプリ』」の開発を進められないだろうかと考えています。そして、処方箋に「博物館」と書くという日が来ることを期待したいです。さあ、皆さん、「ちょこっと博物館浴」を始めてみましょう。そして、お気に入りの展覧会を見つけて、ココロとカラダの癒しを感じてみませんか。

【研究内容の問い合わせ】 Email: museum03@ip.kyusan-u.ac.jp 担当:九州産業大学地域共創学部特任教授 緒方 泉
【報道、ロゴ使用関係の問い合わせ】 Email: kohoka@ml.kyusan-u.ac.jp 担当:九州産業大学総合企画部広報課



知って納得!

博物館浴®

MUSEUM BATHING



「博物館浴®」の定義

博物館見学を通して、博物館の持つ癒し効果を
人々の健康増進、疾病予防に活用する活動です。

私たちは超高齢社会、 ストレス社会に生きています

現代日本の総人口に対する
高齢化率



29.56%

不登校児童・生徒



35万

15~64歳のひきこもり



146万

働く人の
メンタルヘルス問題



82.7%

高齢化率は上昇し、日本は世界第2位です(第1位はモナコ、36.36%。2023年現在、GLOBAL NOTE発表)、また不登校児童・生徒は約35万人(2023年文部科学省調査)、15歳~64歳のひきこもりは約146万人(2022年内閣府調査)にのぼり、メンタルヘルスの問題も深刻です。さらに、働く人のストレスも深刻化しています。2023年労働安全衛生調査(厚生労働省)によると、現在の仕事や職業生活に関することで、「ストレスを感じる事柄がある」と回答した働く人の割合は82.7%に達しました。企業の健康経営の観点から、国は2027年までに、この数字を50%未満に抑えることを目標としています。今回は、芸術文化活動の場の一つである博物館を取り上げ、「健康・ウェルビーイングの場」としての新たな価値創造に向けた研究を紹介したいと思います。

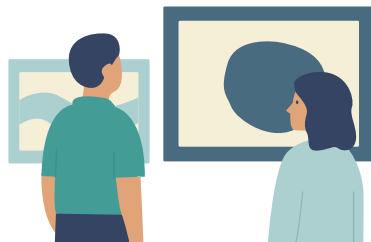
博物館浴って何？

「博物館浴」とは、「海水浴」「温泉浴」「森林浴」のように、「博物館での作品鑑賞やその空間にすることで、ココロとカラダが癒される。つまり、人々の健康増進や疾病予防に役立つ活動」という考え方です。

皆さんは、年間に何回くらい博物館(美術、歴史、考古、民俗、自然史などを扱う施設の総称)に行きますか？

日本には約5,700館の博物館があります。しかし、国民一人が1年間に訪問する回数は、平均2.1回です(2024年度文部科学省「社会教育調査」)。たくさんの博物館が積極的に活用されているとは言えません。超高齢社会、ストレス社会の真只中の日本で、人々が健康・ウェルビーイングな日々を送るために、博物館にできることはないのでしょうか？

そこで今回は、博物館の新たな価値として注目される、「博物館浴」を紹介します。



「博物館処方箋」が 発行されている国がある？



カナダ、スイス、ベルギー、台湾では医師が処方箋に「博物館」と書くという、画期的な取り組みが始まっています。カナダでは10年に及ぶ実証実験を経て、2018年11月から開始。カナダ最古の美術館、モントリオール美術館(1860年開館)とカナダ・フランコフォニー医師会が連携し、心身にさまざまな健康問題を抱える患者とその家族などが、全て無料で美術館に入館し、芸術文化による健康効果を楽しむことができました。

海外で進む 「博物館と健康・ウェルビーイング」の研究



ロンドン大学



ウェストミンスター大学



ローマ・トレ大学

芸術文化活動が 多い人ほど長生き

50歳以上の地域住民約6,700人を対象に14年間にわたり、「芸術文化活動の頻度と死亡率との関連」をテーマに調査を行った結果、芸術文化活動を行った結果、芸術文化活動に親しむ機会(博物館、アートギャラリー、劇場などの鑑賞や観劇)が多い人ほど長生きするという報告をしました。(Daisy Fancourt et al.2019)

働く人の昼休みアート鑑賞 ストレスホルモン正常化

ロンドンの働く人を対象に、アートギャラリーへの昼休みの短時間見学前後で、ストレスホルモンの指標になる、副腎皮質ホルモン「コルチゾール」検査を行いました。見学前はかなり高い値を示していましたが、見学後は正常値に戻っており、昼休みの短時間見学だけでも、5時間の休息に値するストレスの軽減になることが明らかになりました。(Angela Clow et al. 2006)

美術の鑑賞で 最高血圧が低下

血圧と脈拍数という生理面から、現代美術と具象画の鑑賞前後の変化を調べました。その結果、具象画を見学したグループは収縮期血圧(最高血圧)が有意に低下したと報告しました。(Stefano Mastandrea et al.2019)

子ども・若者の6人に一人がメンタル不全を抱える英国では、健康問題や社会的課題に対する博物館の新たな役割に関心が高まっています。英国博物館協会のウェブサイトでは、「Museums Change Lives(博物館は人生を変える)」というメッセージを掲げ、「博物館は私たちの幸福感を高める場」と明記しています。欧米では、「博物館と健康・ウェルビーイング」の研究は大いに進み、「社会的処方」の場として活用されているのです。